

第133号 2024年5月27日



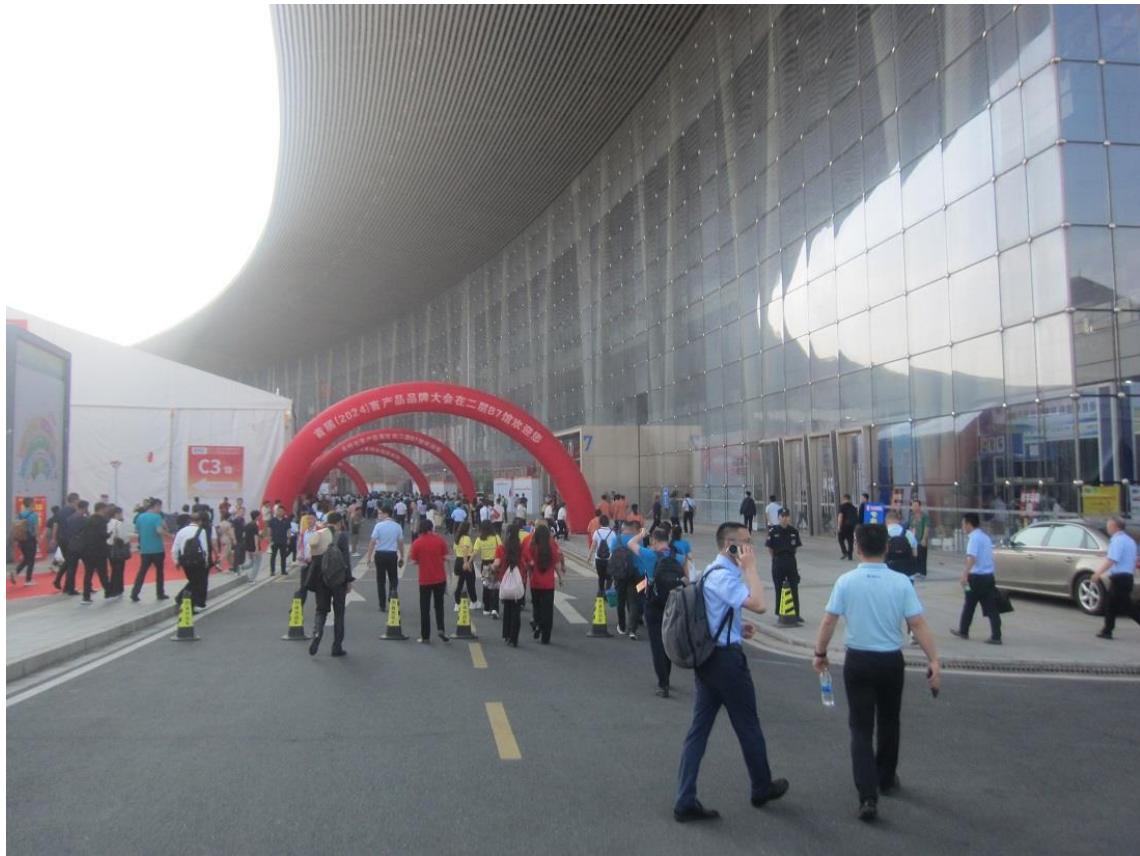
技術営業グループ
常務取締役 今村 芳敬

中国展示会 CAHE

5月18日から20日の3日間、中国の展示会CAHE(China Animal Husbandry Expo)が開催されました。この展示会は、中国の主要都市で毎年開催されており、今年は江西省の南昌で開催されました。養鶏設備関係の他、養豚設備、牛の設備、設備部品会社、飼料関係、動薬関係、種鶏、種豚関係の会社などが多く参加しており、毎年規模が大きくなっています。今回は南昌の国際展示場の1階のA1からA7、2階のB1からB7の外にテントの特設会場もあり、日本のIPPSの10倍以上の規模で、人口日本の10倍を実感する展示会でした。



21回目の開催



南昌の国際展示場



展示会場図

ハイテムからは私と椿井常務、Geng 主任の3人、HFからはHuangさん、Liさん、Zhuさん、Jianさん、Wangさん、Duanさん、Fanさんの7人の計10人で展示会の対応をしました。

ハイテムブースの位置は、大手養鶏機器メーカーが集まるホールA2内という絶好のロケーションで、展示会の設営も段取りよく進み、良い出来だったと思います。



設置完了のハイテムブース

Huangさんの報告によると、前回成都であったCAHEに比べてブースへの来場者数は、初日の午前中はほぼ満員であり、全体でも20~30%増加しました。(ここ1年は中国での鶏卵価格は低迷しており、その影響を受けると思われましたが、予想外に多くの来場者がいました)。

エコブリーズは実際に動いているので多くの来場者がケージに立ち寄り、インパクトがありました。



初日にぎわい

19日は人が半分ぐらいに減ったので、他のブース調査を行いました。 海外の競合メーカーの中では、サルメット、ファコは出展しておらず、また中国のケージメーカーもいくらか選別が進み少なくなってきたのかなと感じました。

また、鶏糞処理関係では、コンポの他に、いくつかのメーカーが鶏糞排気乾燥設備/プレートドライヤーを展示していました。設備メーカーでプレートドライヤーに本格的に取り組んでいたのは世界的に見てこれまでハイテム他1社でしたので、EVに象徴される中国メーカーの動きの速さは印象的でした。

中国の農場では、これまで鶏糞処理に興味がないところも多かったのですが、大型化も関係していると思いますが、臭い問題等も含めて鶏糞処理が必要になってきていると感じました。

換気関係では、養豚関係から始まったプラスチックの枠、ブレードの大型ファンが出始めているので今後注目していきたいと思いました。

最終日は、移動で参加しませんでしたが、充実した展示会でした。



全員で記念撮影

